令和７年度　野田市自転車等駐車場指定管理者管理運営状況調書

担当課　市民生活課

評価基準	評価項目	指定管理者自己評価	担当課評価	特記事項
施設の効用（設置目的）が最大限発揮されるものであること	サービス向上のための取組状況	B	B	
管理経費の縮減が図られるものであること	①指定管理に係る経費の収支見込について	B	B	
	②経費縮減のための取組	B	B	
地元住民の雇用、物品及び役務の調達に際して、地元業者へ配慮すること	地元住民の雇用及び地元業者への配慮	A	B	
事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	人員配置について	A	B	

総合所見

１月１５日に管理職及び担当者が施設を訪問し、指定管理者と打合せを行った。年度事業の実施状況については、安定した施設管理及び利用者へのサービスを実施している。

緊急時の危機管理体制については、自社の危機管理マニュアルにおいて利用者への安全確保を最優先に掲げ、作成した緊急連絡網により迅速な被害状況の確認及び報告ができる管理体制である。また、今年度から２４時間開放制となり、管理員が不在の時間はコールセンターで対応する体制としているが、苦情やクレーム、トラブル等の連絡はこれまで発生していない。防災訓練については、今後実施を予定している。

サービス向上のための取組として、利用者アンケートを２月中旬に web 及び紙面で実施する予定である。

施設管理については、施設の保守点検が実施されているほか、普段から施設内の見回り及び整頓を実施し、利用者の安全確保に努めている。また、日中の一部消灯実施などの節電に努めたほか、事務消耗品を一括で購入し購入単価を軽減することで経費削減に取り組むなど適正な管理が行われている。

人員配置については、管理員６名中５名が野田市在住となっており、地元雇用に配慮している。また、管理員６名中４名が実務経験を３年以上経験しているほ

か、時間外勤務の削減に取り組むなど安定した業務管理を遂行できる人員配置となっている。
　利用促進のための取組として自主事業のレンタサイクル事業の取組が行われており、利用率の向上に努めている。また、ヘルメット用ロッカーの貸出しを行いヘルメットの着用率向上に努めている。
　実施しなかった事業として、ＡＥＤの設置については、今年度から野田市が設置したため実施しなかった。また、自動販売機の設置については、既存の自動販売機を野田市社会福祉協議会が設置していることから実施しなかった。
　総合所見として、事業計画書に沿った運営がなされ、水準どおりに管理運営が行われている。水準より優れた管理運営ではないため担当課評価はＢとする。